

第 学年 組 保健学習指導案

平成 年 月 日 ()

指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○○○○○

2 授業づくりの構想

(1) 単元観

保健領域では、その教材に関連する一般的実態、現代的課題、学習する必要性、学習することによる効果等々について記述する。

(2) 児童の実態

教材に関する児童の興味や関心などの実態、既習事項、アンケート結果、これまでの学習の様子などについて記入する。

(3) 学習内容の系統性

※当該学年の内容を太枠で囲んでください。
運動領域とは異なり、中学校の内容を記載してください。

第3、4学年	
G 保健	
(2) 育ちゆく体とわたし	
ア 体の発育・発達	
イ 思春期の体の変化	
ウ 体をよりよく発育・発達させるための生活	

第5、6学年	
G 保健	
(1) 心の健康	
ア 心の健康	
イ 心と体の相互の影響	
ウ 不安や悩みへの対処	
(2) 病気の予防	
ア 病気の起り方	
イ 生活行動がかかわって起こる病気の予防	

中学校	
保健分野	
(1) 心身の機能の発達と心の健康	
ア 身体機能の発達	
イ 生殖にかかわる機能の成熟	
ウ 精神機能の発達と自己形成	
エ 欲求やストレスへの対処と心の健康	

関連する保健指導・教科等

- ・学級活動、道徳、学校行事、総合的な学習の時間等の中から、関連する指導、事項等を箇条書きで列挙する。
(例)・むし歯の予防(学級活動)、いのちのリレー(学級活動)、宿泊学習(学校行事)、…

(4) 単元の目標

【関心・意欲・態度】

※ ○○○できるようにする。

【思考・判断】

※ ○○○できるようにする。

【知識・理解】

※ ○○○できるようにする。

(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

○指導のポイント、指導の手立てや工夫、学習過程、言語活動についてなど、指導観を記入する。

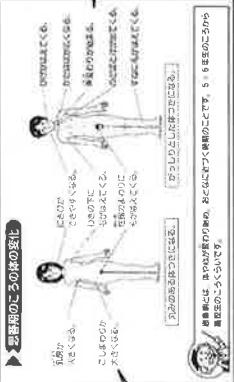
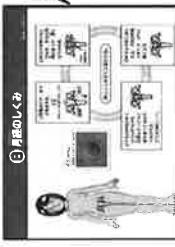
(6) 単元の流れ及び評価の計画

時	1	2 (本時)	3	4
主なねらい	体の発育・発達については、身長、体重などを適宜取り上げ、これらは年齢に伴って変化することを理解するとともに、体の変化には個人差があることを理解する。	思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れること、また、初経、精通、変声、発毛が起こり、これらは早い遅いがあるものの、だれにも起こる、大人に近づく現象であることを理解する。	思春期には、早い遅いがあるものの、だれにでも心に変化が起こり、異性への関心が芽生えることを理解する。	体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、多くの種類の食品をとることができるように調和のとれた食事、体の発育・発達によい適切な運動、休養及び睡眠などが必要であることを理解する。
学習活動	「育ちゆく体とわたし」について、調べたいことを話し合ってみる。 「体の発育」について、健康の記録をもとに、自分の身長や体重の変化を調べる。 「体の発育」について話し合ったり、まとめたりする。	大人に近づくにつれて、わたしたちの心や体がどのようにどのように変化するか、考える。 体のどこにどのような変化がいつ頃おきるか、男女別に調べる。 調べたことをもとに、思春期の体の変化について話し合ったり、まとめたりする。	大人に近づくにつれて、わたしたちの心にどのような変化がおきるか、考える。 異性への関心現れ方にについて、調べてみる。 調べたことをもとに思春期の心の変化について話し合ったり、まとめたりする。	体のよりよい発育のためには、どのようなことが必要か考える。 生活習慣アンケートや生活自己点検をふり返るとともに、体によいくらしについて考える。 体のよりよい発育について、調べたことをもとに話し合ったり、まとめたりする。
評価の計画	閑 ①	②	①	②
	思 ①	②		
	知 ①	②		
※1時間における評価の観点は、原則として1、多くても2が望ましいです。単元全体を通して、全ての観点を網羅できるように計画してください。				
具体的な評価規準	関心・意欲・態度	思	技能	
	①育ちゆく体とわたし」の体の発育について、教科書や健康の記録を見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ②思春期の体や心の変化や体のよりよい発育について、教科書や資料などを見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。	①体の発育や思春期の体や心の変化について、教科書や友だち、先生の話をもとに、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、自分の考えを説明している。 ②体のよりよい発育について、教科書や自己の生活ポイントカードや友達や先生の話をもとに、生活課題の解決方法を選んだり、見つけたりして、それらを説明している。	①体の発育や思春期の体や心の変化について、理解したことを書いたり、発表したりしている。 ②体のよりよい発育について、理解したことを書いたり、発表したりしている。	

3 本日の学習 (2/4)

(1) 目標 思春期の体や心の変化について、事前に調べてきたことと教科書や資料などを比較するなど、学習に進んで取り組むことができるようになります。【関心・意欲・態度】
思春期に始まる体つきの変化を、生殖器の成熟と関連づけて考えるとともに、人によって始まる時期が違うことや、必ず誰にでも起こる現象だと説明することができるようにする。【思考・判断】
体の発育や思春期の体や心の変化について、特に評価する項目

(2) 準備 保健学習ノート、掲示物
(3) 展開

学びの段階	ひらく	1 保健学習ノートのp12の予習ノートで、先行学習での理解度を5段階で自己評価する。 ▶ 感謝のこころの体の姿	○ 指導上の留意点・支援 ★評価 (方法)
			○先行学習で、保健学習ノートのp12について、答え合わせとともに、5段階の自己評価で、学習の理解度を確認する。
話し合う	2 ほかの動物と比較して、人間に起こる思春期の体の変化について話し合う。	 <p>男の人は、ひげが生えてくるよ。 声変わりってあるけど、どうなるのかな。 男の人も女の人も、毛が生えてくる場所は同じだね。</p> <p>女のは、どうして腰回りが大きくなるのかな。 女のは、丸みのある体になり、男の人は、がつりとした体つきになるよ。</p>	○思春期の体の変化だけでなく、気がついたことや疑問点も発言させることで、学習への意欲を高められる。 ※「児童のつぶやき」は、予想される児童の反応、次なる学習 (めあて) への意欲等を書いてください。「言葉かけ・教え合い」は、しっかりと検討・吟味した教師の発問を書いてください。
			○思春期の体の変化だけではなく、気がついたことや疑問点も発言させることで、学習への意欲を高められる。 ※指導案中には、本特で扱う資料等を可能な限り掲載してください。
つかむ	3 学習課題を把握する。 ▶ ② 男のいき	 <p>人間にはないけど、生まれた時からひげがあるよ。 人間のひげは赤ちゃんにはないけど、大人にはあるね。</p> <p>犬や猫のひげと人間のひげとは役割が違うね。</p>	○保健学習p19の月経や射精の仕組みの拡大イラストを、キャラスターに相似し、男女それぞれの場所に行って、男子、女子ぞれぞれがまとまって、保健学習ノートを確認しながら、記入していくことを伝える。
			○保健学習p13について、「ひらくへつかむ」中の「まどめる」の間の変化について、学習過程には、「習得」を中心とした学習を、「わかる」「話し合う」等で記載し、「活用」「探し」を中心とした学習を、「ためす」「いかす」「話し合う」の3までに分けて記載してください。
まとめ	5 まとめをする。	 <p>● 体の変化に関する問題 ■ 月経を経験した人の数(100人中): 10歳未満: 0人 11歳: 1人 12歳: 5人 13歳: 10人 14歳: 20人 15歳: 30人 16歳: 40人 17歳: 50人 18歳: 60人 19歳: 70人 20歳: 80人 21歳: 90人 22歳: 100人</p> <p>小学生3年生や4年生いるね。 が始まっている人がいるね。</p> <p>これ以上早い人がいるのがいる。</p>	★体の外見と体の内面の変化を関連づけて考え、説明している。【思考・判断】(保健学習ノート・発言) ○学習の最後に本時の学習内容について、もう一度5段階評価を行い、各自の理解度を確認し、分かったこと、よく分からなかったことなどについて、ふり返りを書かせる。